ないつくいをよりがなり こうはつ じしん ちゅうい じょうほう アングニス こうはつ じしん ちゅうい じょうほう アングニス にん ちゅうい じょうほう

Are you aware of the Hokkaido-Sanriku-Oki Subsequent Earthquake Advisory?

※『南海トラフ地震臨時情報』と同様に、

日本海溝沿い・千島海溝沿いで想定されている巨大地震への注意を呼びかける情報です。



【前例①】 1963年 択捉島南東沖地震 Mw7.0 •• Mw8.5 約18時間後 【前例②】 2011年 東北地方太平洋沖地震 Mw7.3 •• Mw9.0 約2日後

想定震源域とその周辺で Mw7.0以上の地震発生

巨大地震の発生可能性が 平時よりも相対的に高まっているおそれ

<u>地震発生から2時間程度</u> ・三陸沖後発地震注意情報 発信

続いて発生し得る巨大地震への注意を呼び掛け

どのような備えが必要なの?







「内閣府(防災担当)・気象庁」の資料を一部改変

日本海溝沿いの地震

石巻市 の想定 最大震度 :6弱

最大津波高:14m(太平洋沿岸部)

於

津波高さ_m 20.0-10.0-20.0 5.0-10.0 2.0-5.0 1.0-2.0 0.01-1.0 震度 7 6強 6弱 5強 5弱

被害想定

- ●最大津波高 約30m
- ●最大死者約19万9千人
- ●低体温症死亡リスク

対策 死 者 8割減

防災対策

- ①津波即避難の徹底②避難ビル等の活用
- ③防寒備品の準備 等

地震時に迅速な避難が必要な場合

揺れを感じたり、津波警報等が 発表されたりした場合に、直ちに 津波から避難できる態勢の準備

すぐに避難できる態勢での就寝

- □すぐに逃げられる服装で就寝 □子どもや高齢者等、要配慮者と同室で就寝
- □室内で最も安全かつ避難しやすい部屋の使用
- 安全な部屋

非常持出品の常時携帯

- □準備しておいた非常持出品を日中は常時携帯、 就寝時は枕元に置く
- □身分証明書や貴重品を常時携帯 □防寒具等、積雪寒冷に備えた装備を手元に置く



地震によるリスクの高い場所がある場合

想定されるリスクからの 身の安全を確保する備え

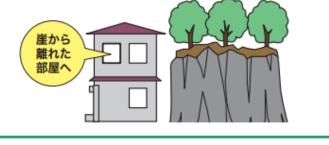
揺れによる倒壊への備え

□先発地震で損壊した建物や崩れやすい ブロック塀等にはできるだけ近づかない



土砂災害等への注意

- □先発地震により、土砂崩れの危険性が
- 高まっている場所にはできるだけ近づかない □崖崩れの恐れがある家では、崖に近い部屋で の就寝を控える
- □地震発生後の津波からの避難が困難な地域に 立ち入る際は、そのようなリスクのある区域 であることを意識して、いつでも避難できる ようにする



後発地震に注意し、 誰もが実施すべき備え

緊急情報の取得体制の確保

- □携帯電話等の緊急情報を取得できる端末の 音量を平時よりも上げておく
- □ラジオや防災行政無線の受信機等を日頃生 活する空間に配置





日頃からの備えの再確認

- □水や食料等の備蓄の再確認
- □避難場所・避難経路等の再確認 □家族との連絡手段の再確認
- □家具の固定の再確認
- □自治会単位での訓練等での再確認



内閣府 防災情報のページ「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策」の資料を一部改変